



戎橋南詰から東をみる 昭和42年(1967)5月

牧村史陽の写真でめぐる ミナミ

—道頓堀・千日前の風景—

牧村史陽は大阪の郷土史家で、『大阪ことば事典』（講談社、1979年）の著者として知られています。牧村氏が撮影した写真には、高度経済成長とともに大きく変わりゆく大阪の姿が記録されています。

関西大学大阪都市遺産研究センターでは、大阪の都市景観の変遷について調査・研究を行っています。この写真展では、本研究センターが所蔵する「牧村史陽旧蔵写真」の中から、昭和30年代から40年代にかけて撮影された道頓堀・千日前の写真を取りあげます。およそ40年前のミナミの風景をお楽しみください。

2014 7/23 (水) — 9/9 (火) 7:00~24:00

●開催場所：なんばオリエンタルホテル3階 「五感ギャラリー」
なんばオリエンタルホテル1階～3階 各スペース

【主催】 なんばオリエンタルホテル
関西大学大阪都市遺産研究センター

【後援・協力】 道頓堀商店会

●問い合わせ（土・日・祝を除く 10:00～16:00）

関西大学大阪都市遺産研究センター

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 関西大学博物館内

TEL: 06-6368-0095 FAX: 06-6368-0092

E-mail: osaka-toshi@ml.kandai.jp

